

# 水トラストニュース

2022.6 No.46



## もくじ

御嵩町町有林整備の15年	.....1
丸太を出荷しました	.....4
村越造園への道 & 一口メモ	.....5
コロナ下でも活動した水トラスト	.....6
2022年度定期総会案内	.....7

# 御嵩町町有林整備の 15 年

大沼淳一

私たちが御嵩町に通い始めたそもそもの始まりは 1995 年でした。当時、巨大産廃処分場計画が持ち上がって揺れているこの町を訪問して、処分場候補地とされた小和沢地区を視察したのです。処分場計画の是非をめぐって住民投票が行われて御嵩町民が明確に拒否の意思を表明したのが 1997 年でした。1998 年 11 月にトラストの森がオープンし、私たちの木こりボランティアが始まりました。プロ仕様のチェーンソーや枝打ち用のラダー(梯子)を購入し、間伐材で作業小屋を建てました。あの小屋は 20 年以上もの風雪に耐えていることになります。去年は屋根の防水シートの張替えをしましたが、まだまだ使えそうです。

2000 年 10 月に NPO 法人格を取得して「みたけ・500 万人の木曾川水トラスト」と名乗ることになりました。2007 年 1 月、当時の柳川町長からの依頼を受けて、「市民ボランティアによる水源林整備活動に関する協定書」に調印し、御嵩町上之郷・綱木地区の町有林(3ha)の整備作業が始まりました。毎月第 2 土曜日はトラストの森、翌日の日曜日は町有林、年間 22 日間(8 月だけお休み)の森林作業が定着することになりました。この年は、日本水環境学会の 2007 年度水環境文化賞を受賞しています。御嵩町環境フェアへの出展が始まったのもこの年でした。翌 2008 年からは、なごや環境デーへの出展が始まり、2009 年には「なごや環境大学共育講座」全 8 回を、御嵩町の人々を講師に行いました。この環境大学講座は現在も続いています。講師は自前の水トラストメンバーで行っています。フィールドはトラストの森と町有林です。

15 年間続いてきた御嵩町町有林整備事業は、本年(2022 年)3 月で終わりになってしまいました。昨年 2 月、御嵩町側から打ち切りの提案があったのです。理由は、加茂森林組合との間で「森林経営信託契約」を締結し、町有林 163 ha の整備を依頼したから市民ボランティアに任せる森が無くなったというものでした。御嵩町は当時全国で 2 例目とされる「森林経営信託契約」です。すでに 2012 年から 2021 年までの 10 年間で 236 ha の森林整備をやってきました。今回はその 2 期目というわけです。この件について御嵩町農林課と数回にわたる会合を持ち、別の町有林の可能性を話し合いました。はじめのうちは広葉樹林なら可能だとの回答があり、現地視察についても話し合われましたが、農林課のスタンスがどんどん変化し、ついには「お任せできる森はない」という最終回答となってしまいました。今後も御嵩町内の町有林や民有林の整備に関する情報交換をしていくという約束をしたところで役場との話し合いは終わっています。

というわけで、本年 4 月からはトラストの森を売っていただき、その後も様々なお付き合いをさせてもらってきた小木曾さん所有の森で日曜日の間伐作業を続けることになりました。数 ha はあるので、現在の間伐ペースからすれば 5 年間以上は大丈夫です。これを機会に、御嵩町町有林で行ってきた森林整備の 15 年を簡単に振り返ってみようと思います。

2007 年から始まった第 1 期 2 年間では、綱木地区 3 ha を間伐、枝打ちしました。途中で誤伐事

件が発生して、御嵩町は山主に賠償金 70 万円を支払うという事件が発生しました。役場の町有林原図が旧上之郷村時代のもので間違っていたのです。

当初の方針は全国の状況に合わせた切り捨て間伐でしたから、バッタバタとヒノキや杉を伐採してそのまま放置するというものでした。作業効率は極めて良く、素人林業でもかなりの面積の間伐を行うことが出来ました。この頃、名古屋市では第 10 回生物多様性条約締約国会議 COP10 が 2010 年に予定されていて、NPO・NGO が世界中から集まってセミナーや会議をするエリアで使うテーブルが必要だということになり、第 1 期の 3 ha 町有林からヒノキ材を切り出して、大きなテーブルを 4 台作成しました。COP10 終了後に、そのうちの 1 台は御嵩町役場に寄付されて、町民コーナーに置かれています。もう 1 台はトラストの森の作業小屋に置かれています。

2009 年から第 2 期 3 年間は始まり、綱木地区の別の 1 ha を整備した後、小和沢地区 5 ha が始まりました。この第 2 期の契約書調印式では、町長(現渡辺町長)は無論のこと岐阜県加茂農林事務所長、御嵩町議会建設産業常任委員長、御嵩町民による森林ボランティア「水土里隊」隊長、御嵩町山林管理員などが列席しました。第 3 期以降の調印式では町長の出席もなくなり、御嵩町役場の本事業への熱意が低下してきたように思われます。

小和沢は、巨大産廃処分場候補地とされた場所で、産廃業者・寿和工業が取得していた場所と隣接する町有林でしたから緊張しながら作業が始まりました。役場が寿和工業取得地と直接に境が接しないように、施業エリアに慎重にビニルテープを張りました。

小和沢の森は過去にかなり間伐がされているために、ヒノキも杉も太く、かつ樹高も高く立派でした。この木を切り捨てにするのはいかにももったいないので、なんとか有効活用できないものだろうかとの思いがつのり、伐倒した間伐材を玉切りして出荷することが模索されはじめました。御嵩町役場にも、再三にわたって役場事業で有効活用することを提案しました。そのおかげで、御嵩町役場が町内の公園にウッドチップロードを造った時に出材が行われました。町が設置している綱木のマレットゴルフ場のコース整備の丸太としても利用されました。しかし、その後が続きません。そこで、我々が自力でなんとか有効利用を図るための模索が始まり、穂積町(現瑞穂市)で稼働が始まったバイオマス発電所への出材を検討するための現地見学を行いました。納入する丸太が認証された森から伐り出されたものであることの証明書が必要だということが分かり、御嵩町農林課に認証林の手続きを働きかけましたが実現しませんでした。次に取り組んだのが、パルプ材としての出荷です。

大王製紙可児工場が 2m に玉切りした丸太を買ってくれることが分かり、以後年間 1 ～3 回、1 回あたり 10 数立米の出荷実験を行ってきました。切り捨て間伐と違って、間



伐の速度は大幅に落ちました。伐倒した木の枝を払い、2mの物差しで幹に印をつけて、チェーンソーで玉切りしていくのですが、急な斜面での作業なので簡単ではありません。玉切りした丸太を尾根まで引き上げるのも大変です。引き上げた丸太を運送屋のユニック付き大型トラックが入れる林道まで運ぶ必要もあります。50cc のエンジンが付いた軽ウィンチ「ひっぱりだこ」やキャタビラー車も活用しましたが、一番肝心なのは人力です。この一番大切な力仕事に参加者には新鮮だったようで、リピーターを生む大きな要因ともなったようです。

丸太を尾根に引き上げるためには、伐倒の方向が斜面の上に向いていることがベストで、斜面に平行の横向きが次善です。しかし現場で生えている木の重心が理想の方向に傾いていることは稀です。そこで、木にワイヤーやロープを懸けてチルホールという手動ウィンチで引っ張ることが増えました。このために伐倒の能率はさらに下がりました。

このため、第3期(3年間)、第4期(3年間)、第5期(3年間)も作業は小和沢5haで行われました。この先まだ5年間以上はかかりそうだと思われた2021年2月の第6期契約更新の時に、先に述べたように役場から打ち切りの連絡が入ったのでした。このため第6期は1年間限りで、本年3月に終了となったのです。

この15年間の木こり仕事参加者数は合計5000人を超えます。毎月の参加者名簿を集計した結果です。毎年300人以上の人々が御嵩町にやってきたこととなります。車で来る人が多いのですが、名鉄広見線を利用する参加者も必ずいます。新可児・御嵩間を走る広見線は赤字路線で、名鉄は廃線にする機会をうかがっています。名古屋方面から御嵩に向かう乗客は新可児駅でチケットを改札機に通すシステムになっているのですが、これは正味の広見線利用者数をカウントするための仕組みです。すでに八百津線が廃線となって八百津町がさびれたことがわかっている沿線の御嵩町と可児市は、広見線運営補助金(可児市250万円、御嵩町360万円)を支出し、町民・市民に電車利用を奨励しています。2021年8月20日付けの中日新聞には、名鉄が運営協議会に対して1億円の増額要求をしたと報じています。私たち水トラストの活動は、こういうところでも御嵩町に貢献してきたのです。

御嵩町は環境省が主管する環境モデル都市に立候補し、1回目は落選でしたが、2回目に当選しました。CO2排出量の削減などを進めるための主要な施策の一つとして森林再生事業が挙げられています。御嵩町のホームページで該当のページを開くと、加茂森林組合への森林経営信託と並んで、企業やボランティアによる体験型環境教育の拠点づくり、森づくり、森林資源循環利用が挙げられていて、水土里隊やアサヒビールや東邦ガスの名前が出ていますが、不思議なことに「みたけ・500万人の木曾川水トラスト」は見当たりません。この15年間の間伐枝打ち実績は決して他のグループに見劣りするものではありません。そもそも枝打ちまでやっている森林ボランティアは全国的に見ても稀です。私たちが進めてきた森林整備活動が終わった森では、トラストの森でも町有林でも、枝打ちが出来ているために風景がまるで違うのです。間伐とともに、将来のために良材を育て、かつ、水源涵養林として広葉樹を出来るだけ残すという方針のもとにやってきた結果が風景に現れているのです。

小和沢の町有林に隣接して国有林があります。中津川営林署が管理しているようです。この森で一昨年突如として大型林業重機が複数台入って間伐(?)が行われました。民間業者による委託事業かと思われます。その結果は惨憺たるもので、間伐率 70~80%くらいかと思われる強度の間伐で、残された木は曲がったものややせ細ったもので、将来良材となる見込みのない木でした。現代農業社「季刊地域」No.9(2012 年春号)に載った中島健造氏によるレポート「全国に広がる「土佐の森方式」「自伐林業方式」」で以下のような指摘があることとよく符合しているように思われます。— 2012 年から本格スタートする林野庁による「森林・林業再生プラン」に対応した森林組合や企業体は、補助金が材の搬出量に比例することから、本来の間伐から外れて無茶な伐採を進める傾向にある。作業道の支障木が間伐率にカウントされないことや、太い木を出材すれば補助金が増えることから、本数ベースで 50~60%、材積ベースで 70~80%の間伐(?)が行われている。— 御嵩町有林がこのようなことに巻き込まれないことを願いたいと思います。

この国の林業のピンチは続きます。私たちのような素人ボランティア林業が、この状況を変える力となるのかどうかはよくわかりませんが、方向を間違えた林業政策や、それに翻弄される地方自治体の林業行政の実態に気が付く市民の目を育てることくらいはできそうです。



## 丸太を出荷しました

3月17日、町有林で間伐したヒノキ材(上の写真)を大王製紙へ出荷しました。

右は運送業者が大王製紙へ丸太を運搬したときの記録です。丸太を積んだ状態のトラックの重さ(総重量)と、丸太を下ろして空になった状態の重さ(空車重量)の差が、運び込まれた丸太の重さ(正味重量)です。

今回は 16.67 トン出荷しました。

### 計量伝票

日付 2022年03月17日  
時刻 11時01分

車輛番号 6-06

品種名 NH2

納入業者 みたけ・500万人の木 様

輸送業者 様

単価区分

総重量 32,140 Kg

空車重量 15,470 Kg

正味重量 16,670 Kg

大王製紙株式会社 受領印

# 村越造園への道

村越 久弥

表題を決めた時に、なぜか ブルース・リー の『ドラゴンへの道』が頭に浮かんだ。

それは置いておいて。4月6日より、愛知県立岡崎高等専門校 総合造園科に入校し、学生としての生活が始まりました。生徒数は30名で平均年齢57歳(24歳～67歳)のクラスです。

講義と実習を愛知県緑化センターに隣接した校舎と緑化センター施設を使用し、一年間受講をします。卒業後には2級造園施工管理技士の受験資格を取得し、就職先の斡旋も受けられます。

通学は徒歩で通える距離の為、行き帰り緑化センター内をうろうろと歩き、樹木などの観察と名称覚えをしながら体力維持にも努めています。授業は9時20分開始～16時25分終了で授業内容は実習内容の適応季節で組まれてますが、樹木の状況、天候状態などで入れ替わり自然任せの所があります。

講義は一般論を教えてくださいますが、全てが一品物相手のため算数の様に1+1=2の様な正解がありません、結果も直ぐには出ず1年後まで待たなければなりませんのでドキドキ、ワクワクの日々です。

現在は剪定の実習をしていますが、1年後にどの様にしたいかを思い浮かべ考えながら時間も考慮し枝葉と会話をしながら『チョッキン!』、疲れて葉っぱの無い枝を『お疲れさんチョッキン!』、絡まっている枝、蔓を『ごめんねチョッキン!』とやっている内に片付けの時間となってしまう、途中で終わる事もあり残念!!!。片付けは仕掛かりの時よりもキレイにして帰るしつけの為、周囲のゴミ、草などの処理もして終了となります。もちろん剪定はさみなどの道具の手入れも忘れずに行います。

剪定部分で迷った時は、講師と話しますが、互いの想いでの処理方法となるので自分の考えを持っていないと、云われた事しか出来なくなるので予習復習を大事にしています。

冒頭の『ドラゴンへの道』は険しい事の連続の映画だったけれど、私は日々新しい事との出会いばかり、学ぶことはこんなに楽しかったんだ。この先険しい事が起きても自分を信じて乗り越えて行く。

そんな日々を過ごしている『ピッカ ピッカ の～～ 一年生!』。



## 一口メモ ★檜木の伐倒時にしておきたい事。

←新連載

◎伐倒後には、枝葉を出来るだけ小さく処分をして、一所に集積をしましょう。

- ・檜木には耐腐生成分(たいしょくせいせいぶん)のフェノール類、テンペル類が多く腐りにくい。
- ・一般に、針葉樹の方が腐りにくく、土に戻るまでの時間が長くなる。
- ・分解しにくい成分(リグニン)が多く栄養分も少なく、微生物やミミズが繁殖しにくく分解が遅い。
- ・枝葉の堆積により、土に光が当たらず下草が生えず土の活性化が望めない。

文献などを調べた内容などを抜粋しています。

枝葉の処理に時間は掛かりますが、山の為には必要な事と感じます。

この様な処理を出来る人も素敵です、色々な力を駆使して心地よい場所造りをしましょう。

檜木の葉茶と云うのもある様ですので、チャレンジして造ってみます、爽やかな味とのこと。

### コロナ下でも活動した水トラスト

新型コロナ(COVID-19)感染は終息したわけではないが、ワクチン接種が進み、さらに感染のほとんどすべてが重症化率の低いオミクロン株に置き換わったことで、人々のコロナに対する恐怖感や警戒心は薄まった。しかし2020年の4月、最初の緊急事態宣言が出た時、社会はまったくうろたえていた。飲食店だけでなく映画館やデパートまで完全に閉まった。小さな店が営業してただけで、あるいは、公園で子供たちが遊んでいただけで、警察に通報する人もいた。

水トラストは緊急事態宣言が出て活動も止めなかった。活動を止めなかった最大の理由は、屋外の活動だから感染リスクは低い、ということだ。ただ、屋外の活動でも、緊急事態宣言で活動を止めたボランティア団体は多かった。

最初の緊急事態宣言の時、ある人たちはあらゆる活動をできる限り止めるべきだと考えた。他の人たちは、リスクの低い活動は止めずに続けるべきだと考えた。このような違いを生んだ一つの要因は、コロナの致死率についての認識の違いだっただろう。多数の死者を出す感染爆発が起きるのか、そのような可能性は低いのか、その認識は人によって異なった。そしてその違いは、当然、行動制限すべきかどうかの判断の違いにつながった。

それに加え、コロナ感染の期間についての認識の違いが、人々の判断に影響を与えていたと思う。短期間、たとえば一、二か月じっとしていればコロナ感染は終息する、と思っていた人は、もろもろの活動をしばらく停止すべきだと考えただろう。しかし、コロナ感染が一年あるいはそれ以上続くと考えるなら、色々な活動をそれほど長く止めるわけにはいかない、という判断になる。

私自身は、コロナの致死率はそれほど高くなく、また感染は長期間続くと考えていた。水トラストのメンバーは同じように感じていたのだと思う。だから、誰からも活動を止めるべきという声は出なかった。

今考えれば、活動を継続してきた水トラストの判断は間違っていなかったように思える。ただ、活動中に一人でも感染があったら、その判断は非難されることになっただろう。コロナ感染に関しては、絶対に正しい原理原則は存在しない。だから、私たちは異なる原理原則の間で、バランスをとらなければいけない。水トラストが活動を続けてきたのは、単純な原理原則を信じたためではなく、そのようなバランスをとった結果である。これからも注意深くバランスをとり続けるようにしたい。(市村正也)

# 2022 年度定期総会のご案内

時：6月25日（土）14：00～

場所：名古屋働く人の家（地下鉄・伝馬町下車、徒歩6～7分）

議題：2021年度事業報告および決算報告

2022年度事業計画および予算

その他の報告

講演：「社会の中の太陽光発電」

講師：市村正也

今年もやります！ なごや環境大学  
森を育む人づくり講座 in みたけ

今後の予定：7/9(土)、9/10(土)  
10月以降も続きます

申し込み [jimu@n-kd.jp](mailto:jimu@n-kd.jp) 052-223-1223  
<https://www.n-kd.jp/>

## 気軽に、楽しく 山仕事に参加しませんか

とき：毎月第2土曜日およびそれに続く日曜日

集合場所：御嵩町・中公民館（名鉄広見線・御嵩口下車、すぐ）

集合時間：午前10時（日曜日に日帰りの方も同じ時間に中公民館にお越し下さい）

参加の方法：電話、ファックス、電子メールなどで申し込んで下さい。

申し込み・お問い合わせ先：TEL & FAX 052-735-5453（市村）

e-mail: [mitake500np@yahoo.co.jp](mailto:mitake500np@yahoo.co.jp)

参加者の服装・持ち物：長袖、長ズボン、作業の出来る履き物、弁当、水筒

表紙の絵は早川しょう子さん作

### 発行

特定非営利活動法人 みたけ・500万人の木曾川水トラスト

〒464-0850 名古屋市千種区今池3-12-3

丸美タウンマンション今池205（←2020年11月より）

郵便振替00840-5-137369（←2018年5月より）

URL <http://mitake500np.na.coocan.jp/>

e-mail [mitake500np@yahoo.co.jp](mailto:mitake500np@yahoo.co.jp)